

知事メッセージ

「オスプレイ配備に反対する沖縄県民大会」

オスプレイ配備に反対する沖縄県民大会の開催にあたり、御挨拶を申し上げます。

県民の強い要請を受け、実行委員会の皆様が御尽力され、本大会が開催されますことに深く敬意を表します。

普天間飛行場は、市街地の中心部に位置しており、住民は、航空機事故等の危険性と隣あわせの生活を余儀なくされております。

同飛行場の危険性の除去は緊急の課題であり、県は、県外移設・返還の実現を強く求めています。

このような中、オスプレイの普天間飛行場への配備計画が進められておりますが、私は県民の付託を受けた行政の長として、県民の意向を踏まえ、取り組んでおります。

オスプレイの配備については、事故原因が究明され、安全性が証明され、県民の不安が払拭されない限り、絶対に反対であります。

すでに、総理や防衛大臣に対し、直接、オスプレイ配備の見直しを求めるとともに、具体的な項目を示し、その説明を求めるなど、これまで様々な活動を行っているところです。

今後とも徹底して情報の公開を求め、オスプレイ配備の問題点を明らかにするとともに、今回の県民大会で示されたオスプレイ配備に反対する県民の思いを、日米両政府に強く訴えていきたいと考えております。

平成24年9月9日

沖縄県知事 仲井眞 弘多